申込書の作成にあたって（計画航海大学院生参加型）

この申込書は、研究船共同利用運営委員会が主席研究員と協議して、選考並びに研究計画案の作成をする際に重要な資料となりますので、正確に記入してください。 記入後、指導教員の承認（自署必要）を得てから、PDF化してWordファイルとともに提出してください。

1. 令和5年7月中旬以降に予定されている研究航海（別紙1）に参加して実施する小規模な研究計画として下さい。定常観測データの利用等の非乗船の計画も受け付けます。計画の策定にあたっては、指導教員とよくご相談の上、申込書を作成してください。希望する航海の詳しい内容や調査計画などについて、申込前に主席研究者もしくは研究船共同利用運営委員会研究船運航部会委員（参考1）に連絡を取って相談して構いません。COVID-19感染拡大防止のため、乗船前の健康管理等の規程（参考2 -1、参考2-2）の遵守が求められます。研究計画に不都合がないかご確認ください。
2. 申し込み者の氏名・所属機関(大学院・専攻名)・学年を記入してください。
3. 研究課題等：研究内容を表す課題名、希望の航海番号、乗船希望の有無を記入してください。乗船を希望される場合は、過去に研究船・練習船等に乗船した経験の有無を記入してください。
4. 必要観測時間: 独自の観測を希望する場合は、その観測に要する実時間を記入してください。当該航海で実施予定の観測に参加して研究を行う場合は、書く必要はありません。
5. 指導教員記入欄：申込内容を確認し、申込者が研究船共同利用に応募することを認める場合は、自署をお願いします。共同利用航海では、原則として乗下船地までの旅費および乗船中の食卓料が共同利用経費から支払われますが、場合により乗船者に一部負担をお願いする場合があります。「旅費負担」欄は、所属機関の研究予算で旅費負担可能の場合は“可” 、そうでない場合は“不可”としてください。
6. 現在までの研究状況：　修士・博士研究の概要とこれまでの進捗状況、そこから本応募に至った動機、航海に参加することにより期待されることを記載してください。研究船等の乗船経験がある場合は，その内容を簡潔に含めてください．
7. 研究目的:　研究の背景・目的等を、分かりやすく記載してください。
8. 研究内容・計画:　具体的な研究内容を記載してください。独自の観測を希望する場合は、測点、測線、 観測時間の算出根拠等を分かりやすく記載してください。当該航海で実施予定の観測で得られるデータ、試料を利用したい場合は、そのデータ等の種類と利用計画を記載してください。他の計画との関連、他の研究機関との連携等、審査の参考となるものがあれば記載してください。また、申込者が持ち込む観測機器があれば記載してください。「白鳳丸」「新青丸」で東京大学大気海洋研究所所有の共同利用観測機器を希望される場合は、別紙9・10を参照してください。「よこすか」「みらい」「かいめい」で共同利用観測機器を希望される場合はご相談ください。
9. データ・サンプル取扱に関する誓約書：「共同利用研究航海のデータ・サンプルの取扱」(別紙7-1)または「データ・サンプルの取扱いハンドブック（所内利用航海版）」（別紙7-2）をよくお読みの上、誓約書（様式2-1、様式2-2）に署名し、スキャンしたPDFファイルをご提出ください。